

(4) 社日本民営鉄道協会の取組み

日本民営鉄道協会においても各社への側面支援として以下のような調査・共同事業に取り組んでいます。

大都市における鉄道整備の将来像

新線整備や複々線化、シームレス化等への社会的な要請が高まりつつある昨今の状況を受け、「鉄道ネットワーク整備」及び「駅の拠点性向上」の観点から、官民連携による新たな支援方策に基づいた鉄道整備の必要性を2003年5月に提言書「大都市における鉄道整備の将来像」としてまとめました。

駅を拠点とした沿線再生方策に関する調査

「大都市における鉄道整備の将来像」で提言された、異なる分野との既成概念にとらわれないパートナーシップの枠組みの検討や、民鉄沿線拠点化のための政策ニーズを明らかにするため、2003年度より2年間にわたり、国土交通省が実施した「まちづくりと連携した交通結節点の再生整備方策に関する調査」と併せて、(財)運輸政策研究機構への委託調査「駅を拠点とした沿線再生方策に関する調査」として、いくつかのモデル駅を選定の上、鉄道事業者・学識経験者・関係省庁・関係自治体をはじめ、まちづくりに関わる様々な関係主体が参加して広範な角度から各駅をケーススタディとした沿線再生方策に関する具体的な検討を行いました。

この結果、駅のバリアフリー化、自由通路の整備による駅周辺地域の連携向上、街並み・景観に配慮した駅前空間形成や、新規バスルートの導入による交通結節点の向上、パーク&ライドなどを活用した公共交通利用促進対策など、駅を拠点とした沿線再生方策に関する具体的提案をとりまとめました。

鉄道とまちづくりの連携

昨今では、鉄道需要が縮小傾向にある一方で、今後の少子高齢化、成熟型社会の到来を踏まえ、鉄道の駅を中心としたまちづくりを推進することにより、エネルギー消費効率に優れ地球環境にもやさしい持続可能な都市構造へと導くことや、人と人とが交流でき、安全で安心できるコミュニティを形成することへの社会的な要請が高まってきたことから、駅を中心としたまちづくりを進めるための諸政策・制度の使いやすさ、積極的な運用の必要性を提言書「鉄道とまちづくりの連携」として2006年5月にとりまとめました。

この提言を受け、その内容の具体化やきっかけ作りとして、2006年度より鉄道とまちづくりに係るモデルプロジェクト事業(日本民営鉄道協会と鉄道事業者の共同事業)を実施しており、これまでの成果は次の表の通りです。なお、この間、2006年9月には「人が主役の豊かで持続可能な社会の構築に向けて」と題して、「鉄道とまちづくりの連携」に関するシンポジウムを、また、2008年3月には一定の成果を見たモデルプロジェクトの発表会をそれぞれ開催しました。

【1】平成18年度採択モデルプロジェクト

京王・小田急・東急	「駅・緑と花いっぱい運動」
西武	「上井草駅ガンダムタウン計画」
東急・京急・相鉄	「横浜駅・点字マップ作成による『まちのプロモーション事業』」
名鉄	「神宮前まちづくりプロジェクト」
近鉄・京阪	「京都都市圏におけるモビリティ・マネジメントの普及に関する調査」
南海	「和歌山都市圏におけるモビリティ・マネジメント社会実験」
阪急・阪神	「尼崎市域における自転車問題を切り口としたまちとの連携」
西鉄	「柳川雛祭り『さげもんめぐり』にあわせた西鉄柳川駅周辺と柳川市中心部の連携および活性化」

【2】平成19年度採択モデルプロジェクト

名鉄	「コミュニティサイクルシステム構築に向けた鉄道事業者独自の啓蒙活動としてのレンタサイクル事業を進めるための基礎調査」
京阪	「京都東山地区観光案内標識等ネットワーク化推進事業」

【3】平成20年度採択モデルプロジェクト

東急・東京メトロ	「Shibuya1000」
阪急	「淀川三川合流域地域づくりにおけるレンタサイクルを活用した観光PR事業」
東武・西武	「小江戸川越観光キャンペーン 『つばさ』カウントダウン10」

【4】平成21年度採択モデルプロジェクト

南海	「九度山真田花壇協働事業」 「紀伊清水季節の花スポット協働事業」
東急	「多摩川アートラインプロジェクト2009」
阪急	「四季折々の花や自然とめぐる! 阪急宝塚線沿線 観光あるき」

【5-1】平成22年度採択モデルプロジェクト(事業実施済)

阪急・阪神	「関西あそ歩2011春・特別編～京都・大阪・神戸・西宮まち歩きラリー～」
	「華やぐまちに華やぐ人々を訪ねて」をテーマに、それぞれの沿線を代表する都市のまち歩きコース(駅を起終点に2～3キロ・2～3時間程度)を15コース作成。それぞれのコースをお楽しみいただくことで「まち」の魅力を発信した。

【5-2】平成22年度採択モデルプロジェクト(現在事業継続中)

近鉄・京阪 南海・阪急 阪神	「関西5私鉄連携 歴史街道プロジェクト」
	各社沿線にある歴史文化資源を見直し、再評価をしながら、歴史街道推進協議会と連携した旧街道をテーマとしたハイキングや、自治体等と連携した講演会等を実施する。また、こうしたイベントを通じて各社の枠を超えた相互宣伝をすることにより、広域からの旅客誘致を行い、各社の沿線価値の向上を図る。